

科目情報

科目名	専門特別研究	クラス	
担当教員	安藤 至大	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (専門ゼミ)
曜日・時限	金 2	単位区分	選
講義室	3125	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
このゼミでは、企業経営や組織設計等への応用を目的として、ゲーム理論とその実践を学びます。寡占市場における価格付けや入札における応札行動など、ゲーム理論を学ぶことで具体的な戦略を議論できる経営現象は数多くあります。このゼミでの活動を通じて、1、学部中級から上級レベルのゲーム理論を確実に理解しましょう。また、2、現実の具体的事例への応用ができるようになりましょう。 対応 DP 及び CP：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
まずゲーム理論の教科書の輪読を行います。その際には教科書に書いてある内容を紹介するだけでなく、同様のメカニズムが背後にあると考えられる具体的な事例も探して報告していただきます。また同じパートを複数の学生に担当していただき、学生によって強調する点の違いはどこかを把握することを通じて、ゲーム理論への理解を深めます。それにより、現実の企業行動を分析できるツールを身につけましょう。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	学生の自己紹介を行う。ゼミでの研究内容について確認し、理解を深める。利用する教科書等の紹介と輪読の方法について議論する。 【事前学習】2 時間 ゼミシラバスの内容を確認する。また 1 年生の時に学んだミクロ経済学 1 の内容を復習しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 2 回	活動の準備	最大化問題の解き方を確認する。具体的な練習問題を解くことを通じて、計算に慣れる。プレゼン用ソフトの使い方を理解する。 【事前学習】2 時間 事前に配布される練習問題に目を通しておく。高校までで学習した導関数の求め方を復習しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 3 回	教科書の輪読：ゲーム理論	教科書の第 6 章から輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に担当教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 4 回	教科書の輪読：ゲーム理論	教科書の第 6 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に担当教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 5 回	教科書の輪読：ゲーム理論	教科書の第 6 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に担当教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 6 回	教科書の輪読：ゲーム理論	教科書の第 7 章の輪読を行う。

	論	【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に担当教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 7 回	教科書の輪読：ゲーム理論	教科書の第 7 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に担当教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 8 回	教科書の輪読：ゲーム理論	教科書の第 7 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に担当教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 9 回	教科書の輪読：ゲーム理論	教科書の第 8 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に担当教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 10 回	教科書の輪読：ゲーム理論	教科書の第 8 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に担当教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 11 回	教科書の輪読：ゲーム理論	教科書の第 8 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間

		事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に担当教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 1 2 回	教科書の輪読：ゲーム理論	教科書の第 9 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に担当教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 1 3 回	教科書の輪読：ゲーム理論	教科書の第 9 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に担当教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 1 4 回	教科書の輪読：ゲーム理論	教科書の第 9 章の輪読を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に担当教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。問題が扱われた場合には、自分で解いてみる。
第 1 5 回	前期のまとめ	前期に扱った内容を確認する。後期の進め方について議論する。 【事前学習】2 時間 これまでの学習内容を整理しておく。 【事後学習】2 時間 前期のゼミ活動で得た知識を他人に説明できるようになることを目標として、復習する。
第 1 6 回	後期のイントロダクション	後期のゼミの進め方について、グループワークの運営について確認する。割り当てを決定する。 【事前学習】2 時間 問題集の内容をあらかじめ把握しておく。 【事後学習】2 時間 グループワークの進め方について、また担当教員との連絡手段について確認する。

第 1 7 回	練習問題を解く（グループワーク）	問題集の第 6 章の報告を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に担当教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 1 8 回	練習問題を解く（グループワーク）	問題集の第 6 章の報告を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に担当教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 1 9 回	練習問題を解く（グループワーク）	問題集の第 7 章の報告を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に担当教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 2 0 回	練習問題を解く（グループワーク）	問題集の第 7 章の報告を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に担当教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 2 1 回	練習問題を解く（グループワーク）	問題集の第 8 章の報告を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に担当教員に問い合わせて確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 2 2 回	練習問題を解く（グループワーク）	問題集の第 8 章の報告を行う。

		【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に担当教員に問い合わせ確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 2 3 回	練習問題を解く（グループワーク）	問題集の第 9 章の報告を行う。 【事前学習】2 時間 事前に報告が割り当てられているゼミ生は報告資料を作成する。疑問点は事前に担当教員に問い合わせ確認する。報告以外の学生も、扱われる部分を自分で読んでおき、自分ならどのような説明の仕方をするのかを検討する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 2 4 回	現実の課題の調査研究	グループを作って行う現実の調査研究について、グループ分けを行う。またテーマ決定を行う。 【事前学習】2 時間 どのようなテーマを扱いたいのかを事前に考えておく。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 2 5 回	現実の課題の調査研究	グループ内で検討状況を共有し、共同作業を行う。次週までの課題を整理する。 【事前学習】2 時間 前回決定した役割や作業を実行する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 2 6 回	現実の課題の調査研究	グループ内で検討状況を共有し、共同作業を行う。次週までの課題を整理する。 【事前学習】2 時間 前回決定した役割や作業を実行する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 2 7 回	現実の課題の調査研究	グループ内で検討状況を共有し、共同作業を行う。次週までの課題を整理する。 【事前学習】2 時間 前回決定した役割や作業を実行する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 2 8 回	現実の課題の調査研究	グループ内で検討状況を共有し、共同作業を行う。次週までの課題を整理する。

		【事前学習】2 時間 前回決定した役割や作業を実行する。 【事後学習】2 時間 ゼミで扱った内容を理解できているかを確認するために、研究ノートに学習内容を整理して記載する。
第 2 9 回	報告会	調査研究の結果をグループ毎に発表する。 【事前学習】2 時間 前回決定した役割や作業を実行する。 【事後学習】2 時間 他グループから発表された内容を理解するために、報告資料を確認する。
第 3 0 回	一年間のまとめ	一年間の活動内容を振り返る。 【事前学習】2 時間 ゼミで行ってきた活動内容を個人で振り返っておく。 【事後学習】2 時間 ゼミで学んだ内容や知識を今後どのように活用していくのかについて考えておく。

授業形式
輪読とグループワークを行う。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	50 %	0 %	50 %	0 %	100 %
評価の特記事項					
ゲーム理論を学ぶ際には、基礎的な事項から積み上げ型の学習を行うことが不可欠となります。そのため毎回のゼミに必ず出席して、議論に参加することが活動の前提となることに注意してください。調査研究レポートの提出も必須です。					

テキスト
神取道宏（2016）『ミクロ経済学の力』（日本評論社）のゲーム理論のパート 神取道宏（2018）『ミクロ経済学の技』（日本評論社）のゲーム理論のパート（練習問題）
参考文献
なし。
オフィスアワー
ゼミの初回に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
大学で「これを学んだ」と言える分野を作るためにも、ゼミでの活動は大学生活において重要な位置を占めます。ぜひ積極的に参加してください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門特別研究	クラス	01
担当教員	池本 修一	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火 5	単位区分	選
講義室	3103	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
1 年間にわたって欧州経済に関する様々な文献を購読することによって欧州経済の実態を多面的に理解することを目標とする。 対応 D P 及び C P : 5,6,7,8
授業概要（教育目的）
原則的に対面方式によって指定した教材を輪読し、各自が割り当てられた範囲の文献をパワーポイントによって要約し、問題点を指摘する。今年度のテキストは前期は庄司克宏著『欧州ポピュリズム』と後期は熊谷徹著『欧州分裂クライシス』を輪読し、それぞれ担当した学生が発表する予定である。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	欧州におけるポピュリズムの起源, 特色などの基礎的知識の理解	指導教官による当該課題に関する背景, 起源, 特色に関して今後の履修学生の研究学習のための基礎的知識を丁寧に解説する
第 2 回	前期課題図書: 庄司克宏著『欧州ポピュリズム』はじめに 欧州ポピュリズムの衝撃 第 1 節 2017 年のポピュリズム危機	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間: 学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間: 発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 3 回	第 2 節 欧州ポピュリズムの台頭と浸透	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間: 学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間: 発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 4 回	第 3 節 フランスとドイツにおけるポピュリズムと EU	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間: 学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間: 発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 5 回	第 1 章 欧州ポピュリズムとは何か 第 1 節 ポピュリズムをどのように捉えるか	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間: 学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間: 発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 6 回	第 2 節 ポピュリズムとリベラル・デモクラシー	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間: 学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間: 発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 7 回	第 3 節 グローバル化と欧州ポピュリズム	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間: 学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間: 発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 8 回	第 3 章 欧州ポピュリズムはなぜ出現したのか 第 1 節 ポピュリズムの一般的発生要因	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間: 学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間: 発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 9 回	第 2 節 欧州ポピュリズムの構造的要因	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間: 学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間: 発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 10 回	第 3 節 排外主義・ポピュリズムと移民・難民問題	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間: 学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間: 発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。

第 11 回	第 4 節 反リベラル・ポピュリズムとコペンハーゲン・ディレンマ	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 12 回	第 4 章 欧州ポピュリズムは EU に何をもたらすのか 第 1 節 欧州ポピュリズムが EU の政策決定に「侵入」する経路	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 13 回	第 2 節 欧州議会内の党派政治と欧州ポピュリズム	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 14 回	第 3 章 国民投票と欧州ポピュリズム	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 15 回	前期のまとめ 欧州ポピュリズムとは何か	これまでの議論をまとめてレポートを作成する 【事前学習】2 時間：学生全員が前期課題を見直しほかの資料を調べてまとめる。 【事後学習】2 時間：履修学生全員がこれまでの発表や輪読した内容をまとめて前期レポートを作成する。
第 16 回	後期課題図書 熊谷徹著『欧州分裂クライシス』 第 1 章 二人のポピュリスト 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 17 回	第 1 章後半 二人のポピュリスト 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 18 回	第 2 章 国民投票という選択は正しかったか 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 19 回	第 2 章 国民投票という選択は正しかったか 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 20 回	第 3 章 敗者たちの復讐 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 21 回	第 3 章 敗者たちの復讐 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。

		料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 22 回	第 4 章 右翼政党躍進の衝撃 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 23 回	第 4 章 右翼政党躍進の衝撃 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 24 回	第 5 章 転機となった難民危機 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 25 回	第 5 章 転機となった難民危機 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 26 回	第 6 章 東西を分断する「心の壁」 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 27 回	第 6 章 東西を分断する「心の壁」 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 28 回	終章 ポピュリズム革命はどこに向かうのか 前半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 29 回	終章 ポピュリズム革命はどこに向かうのか 後半	当該節の輪読と発表。 【事前学習】2 時間：学生全員が当該箇所を読み必要な知識をほかの資料を調べて予習する 【事後学習】2 時間：発表者は報告して指摘された点を再度調べてレポートを作成する。他の学生は必要な知識を整理して該当箇所の理解を深める。
第 30 回	後期のまとめ 英国とドイツのポピュリズム革命の考察	これまでの議論をまとめてレポートを作成する 【事前学習】2 時間：学生全員が後期課題を見直しほかの資料を調べてまとめる。 【事後学習】2 時間：履修学生全員がこれまでの発表や輪読した内容をまとめて後期レポートを作成する。

授業形式

・質問等のフィードバックは、講義内で行います。

・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%
評価の特記事項					
発表 50%，出席 50%とする。前期・後期で各 3 回以上欠席した学生は単位取得は難しい。					

テキスト
今年度のテキストは前期は庄司克宏著『欧州ポピュリズム』と後期は熊谷徹著『欧州分裂クライシス』とする。
参考文献
随時，授業中に指示する。
オフィスアワー
火曜日 4 時間目
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
繰り返しになるが原則的に対面方式で授業を進める。十分に予習復習を行うこと。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門特別研究	クラス	
担当教員	太田 瑞希子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (専門ゼミ)
曜日・時限	月 2	単位区分	選
講義室	3105	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
1. 地域経済統合の理論と EU（欧州連合）統合の歴史について説明できる。 2. 単一市場と単一通貨ユーロ導入の背景とその成立の意義について説明できる。 3. EU と周辺国の経済関係について説明できる。 対応 DP 及び CP：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
本講義は、世界で展開する地域経済統合の先行例としての EU 経済に関する基礎知識の習得を、基礎的文献の輪読及びディスカッションを通じて学ぶ。地域経済統合の基礎と EU 経済統合の背景からスタートし、EU の通貨システムや共通政策について理解し、3 年次以降の発展的学習の基礎を構築することを目的とする。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション：授業概要と基礎知識の確認	授業の概容と学習目標, 授業の進め方および評価方法について詳しく説明する。その後, EU 経済の概観および世界経済について、各自の知識を確認する。 【事前学習】2 時間 EU およびヨーロッパ経済、世界経済に関する各種報道を読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内で提示した課題。
第 2 回	地域経済統合の理論について輪読①地域経済統合と統合の歴史	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 2 回の授業で提示した課題。
第 3 回	地域経済統合の理論について輪読②EU の組織と政策決定	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 3 回の授業で提示した課題
第 4 回	関税同盟と単一市場について輪読①関税同盟と市場統合	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 4 回の授業で提示した課題
第 5 回	関税同盟と単一市場について輪読②単一市場の拡大と改革	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 4 回の授業で提示した課題
第 6 回	EU の共通政策について輪読①共通農業政策	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 5 回の授業で提示した課題。
第 7 回	EU の共通政策について輪読②通商政策と競争政策	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 6 回の授業で提示した課題
第 8 回	通貨協力とユーロについて輪読①通貨協力の動機と歴史	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 7 回の授業で提示した課題

第 9 回	通貨協力とユーロについて 輪読②通貨統合	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 8 回の授業で提示した課題
第 10 回	ユーロ圏の危機と復活について 輪読①リーマン危機と欧州	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 9 回の授業で提示した課題。
第 11 回	ユーロ圏の危機と復活について 輪読②ユーロ危機	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 10 回の授業で提示した課題
第 12 回	ユーロ圏の危機と復活について 輪読③ECB の危機対応	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 11 回の授業で提示した課題
第 13 回	ヨーロッパの金融システムについて 輪読①SIFIs と金融危機	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 12 回の授業で提示した課題
第 14 回	ヨーロッパの金融システムについて 輪読②金融同盟	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 13 回の授業で提示した課題。
第 15 回	EU の格差について 輪読①南北格差	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 14 回の授業で提示した課題
第 16 回	EU の格差について 輪読②域内労働力移動	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 15 回の授業で提示した課題
第 17 回	EU の格差について 輪読③移民・難民問題	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間

		報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 16 回の授業で提示した課題
第 18 回	EU の格差について輪読④ 域内不均衡	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 17 回の授業で提示した課題。
第 19 回	フランスと EU 経済について 輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 18 回の授業で提示した課題
第 20 回	ドイツと EU 経済について輪 読①ドイツ経済と EU	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 19 回の授業で提示した課題
第 21 回	ドイツと EU 経済について輪 読②ユーロ危機とドイツ	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 20 回の授業で提示した課題
第 22 回	イギリスと EU 経済について 輪読①戦後のイギリス経済 と EU	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 21 回の授業で提示した課題。
第 23 回	イギリスと EU 経済について 輪読②21 世紀の国際金 融とイギリス	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 22 回の授業で提示した課題
第 24 回	イギリスと EU 経済について 輪読③Brexit	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 23 回の授業で提示した課題
第 25 回	イギリスと EU 経済について 輪読④離脱後のイギリス	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。

		【事後学習】2 時間 第 24 回の授業で提示した課題
第 2 6 回	南欧諸国と EU 経済について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 25 回の授業で提示した課題。
第 2 7 回	中・東欧諸国と EU 経済について輪読①EU の東方拡大戦略と中・東欧諸国	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 26 回の授業で提示した課題
第 2 8 回	中・東欧諸国と EU 経済について輪読②中・東欧経済の発展	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 27 回の授業で提示した課題
第 2 9 回	EU と対外通商関係について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 報告者：自分が担当する箇所を読み報告資料を作成する。 報告者以外：テキストの該当部分を読み、わからないところを確認する。 【事後学習】2 時間 第 28 回の授業で提示した課題
第 3 0 回	総括	これまでに理解した内容を踏まえて、最新情勢に関するディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 これまでの学習を復習しておく。 【事後学習】2 時間 総括での議論をベースに、1 年間の学習をまとめ直し、理解したポイントを整理する。

授業形式
質問等は Ecolink から受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	50 %	0 %	50 %	0 %	100 %
評価の特記事項					

テキスト
参考文献
授業時に指示する
オフィスアワー
授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
・事前・事後学習として指示された内容以外に、日頃から EU に関する報道を把握しておくこと。 ・授業課題の提出が複数回ない場合は単位認定を認めない。 ・欧州情勢の変化により、随時教員より時事解説の時間を取ります。
授業用 URL
参考 URL 1
https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/eu/index.html
参考 URL 2
https://ec.europa.eu/commission/index_en

科目情報

科目名	専門特別研究	クラス	
担当教員	大橋 賢裕	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (専門ゼミ)
曜日・時限	水 3	単位区分	選
講義室	3123	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
行動経済学の理論と実践を学びます。行動経済学は、意思決定における心のはたらきに注目します。 心のはたらきには癖があります。その癖はしばしば、我々に偏った選択をさせてしまいます。 本ゼミナールで学ぶことによって、 （１）心のはたらきの癖にはどんなものがあるか （２）「偏った選択」をうまく回避するために、社会ではどんな工夫がなされているか について、自分の言葉で説明できるようになります。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
行動経済学に関する基本的な文献を輪読します。 各自の担当箇所を決め、報告資料を作成し、それに基づいて内容の報告をして貰います。 発表は、本の内容を理解していることが前提です。 わかっていないにも関わらずそれを誤魔化すのは許しません。 そういうときは正直に伝えましょう。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	授業方針の説明と自己紹介	輪読の順番を決める。 【事前学習】2 時間 指定文献に目を通し、どんな内容が大まかに把握する。 【事後学習】2 時間 レポートを書き始める。
第 2 回	大竹 1 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 3 回	大竹 1 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 4 回	大竹 2 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 5 回	大竹 2 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 6 回	大竹 3 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	大竹 3 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 8 回	大竹 4 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 9 回	大竹 4 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間

		自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 10 回	大竹 5 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 11 回	大竹 5 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 12 回	大竹 6 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 13 回	大竹 6 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 14 回	大竹 7 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 15 回	大竹 7 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 16 回	大竹 8 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 17 回	大竹 8 章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。

第18回	シャーロット1章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第19回	シャーロット1章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第20回	シャーロット2章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第21回	シャーロット2章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第22回	シャーロット3章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第23回	シャーロット3章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第24回	シャーロット4章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第25回	シャーロット4章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第26回	シャーロット5章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間

		自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第27回	シャーロット5章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第28回	シャーロット6章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第29回	シャーロット6章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第30回	シャーロット7章	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。

授業形式	
★質問や授業内容に関するフィードバックは講義内または電子メールにて行う。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	20 %	0 %	80 %	0 %	100 %
評価の特記事項					
事前連絡無しの遅刻早退欠席は、成績・単位認定の大きな障害となります。 特に報告時の無断欠席は、その時点で出入禁止、単位不可となります。					

テキスト
授業時に指示する
参考文献
特になし。
オフィスアワー
水曜日 4 限（14:40--16:10）
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
最後までやり通してください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	専門特別研究	クラス	04
担当教員	加藤 恭子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火 4	単位区分	選
講義室	3134	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 組織において「どのように人が管理されているのか」、人事労務管理の諸制度を理解できる。 2. 人事労務管理の諸制度が「どのような背景から生まれてきたのか」、歴史、産業・組織心理学、労働経済学など学際的な視点から理解できる。 3. 人事労務管理の知識を付けることによって、「将来の自分がどのようなキャリアを歩みたいのか」について様々な視点から考えることができる。 対応 D P 及び C P : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
企業や役所などで働くには、まず採用試験を受けます。採用されると、仕事を割り当てられ、それができるよう教育されます。その後、働きぶりを評価され、賃金が支払われます。このような管理が人事労務管理です。 【前期】は人事労務管理の諸制度を学ぶことを目的としております。具体的には、人事労務管理の様々な施策について、実際の企業例を挙げつつ研究します。 【後期】は人事労務管理のベースとなる産業・組織心理学について学ぶことを目的としています。各制度の学問的な背景として、産業・組織心理学の理論について学びます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	ゼミのガイダンスを行う。発表担当者を決定する。 【事前学習】2 時間 Lecture 人事労務管理全体に目を通してくる。 【事後学習】2 時間 自分の担当個所について、発表の準備を始める。
第 2 回	人事労務管理とは何か	Lecture1 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 Lecture1 を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 3 回	日本の現代人事労務管理	Lecture2 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 Lecture2 を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 4 回	トップ・マネジメントの人事労務管理	Lecture3 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 Lecture3 を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 5 回	人事労務管理制度の設計と運用の基礎	Lecture4 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 Lecture4 を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 6 回	雇用管理	Lecture5 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 Lecture5 を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 7 回	教育訓練・能力開発管理	Lecture6 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 Lecture6 を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 8 回	作業条件管理	Lecture7 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 Lecture7 を読み、レジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 9 回	賃金管理	Lecture8 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間

		Lecture8を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 10 回	福利厚生管理	Lecture9 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 Lecture9 を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 11 回	労使関係管理	Lecture10 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 Lecture10 を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 12 回	ライン管理者の人事労務管理	Lecture11 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 Lecture11 を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 13 回	従業員満足志向の人事労務管理	Lecture12 について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 Lecture12 を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 14 回	従業員満足と人的リスクマネジメント	補論について発表し、討論する。 【事前学習】2 時間 補論を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 他者からの質問で答えられなかったことを調べ、まとめる。発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、ノートにまとめる。
第 15 回	前期振り返り	前期に学んだ内容、得たスキルについて振り返りをする。 【事前学習】2 時間 学習内容や他者からのフィードバックを参考に目標管理シートに記入する。 【事後学習】2 時間 他者の発表を聞き、目標管理シートを修正する。
第 16 回	後期のグループワークについてのガイダンス	後期のグループワークについて、グループ決めやテーマ決めを行う。 【事前学習】2 時間 事前に渡した資料を読む。 【事後学習】2 時間 テーマに沿って役割分担をする。
第 17 回	グループワークの実践	各グループで研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告のレジメを作成する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 18 回	グループワークの実践	各グループで研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告のレジメを作成する。

		【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 19 回	第 1 章の報告と討論の実践	各グループで論文の第 1 章について研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告のレジメを作成する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 20 回	グループワークの実践	各グループで研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告のレジメを作成する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 21 回	第 2 章の報告と討論の実践	各グループで論文の第 2 章の研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告のレジメを作成する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 22 回	グループワークの実践	各グループで研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告のレジメを作成する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 23 回	第 3 章の報告と討論の実践	各グループで論文の第 3 章の研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告のレジメを作成する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 24 回	グループワークの実践	各グループで研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告のレジメを作成する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 25 回	第 4 章の報告と討論の実践	各グループで論文の第 4 章の研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告のレジメを作成する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 26 回	グループワークの実践	各グループで研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告のパワーポイントを作成する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基にパワーポイントを修正する。
第 27 回	全体のプレゼンテーション	各グループで研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告のパワーポイントを作成する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 28 回	全体のプレゼンテーション	各グループで研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告のパワーポイントを作成する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。

第 29 回	論文提出	各グループで論文の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告のレジュメを作成する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 30 回	グループワークの振り返り	グループワークの振り返りをする。 【事前学習】2 時間 論文のフィードバックを基に論文を修正する。 【事後学習】2 時間 他者のフィードバックを聞き、論文を完成させる。

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	40%	0%	60%	0%	100%
評価の特記事項					
・成績評価は、授業への参画度（前期の発表、質問及び後期の発表、質問など）、レポート（グループの論文）で評価する。					

テキスト
・岩出博著『LECTURE 人事労務管理』泉文堂，4410 円．
参考文献
・日本経団連労働政策本部編『人事労務用語辞典』日本経団連出版，2520 円．
・岩出博（編）『従業員満足のための人的資源管理』中央経済社，2970 円．
オフィスアワー
・金曜日の 15：00～16：00 をオフィスアワーとします。
・事前にアポを取っていただくと助かります。
・アポやその他質問についてはメールご連絡ください。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミの発表準備など、研究は個人でやるものです。しかし、組織内に「あの人がみたいになりたい」とか、「あの人には負けたくない」という人がいるだけで、自分が思っていた以上に成長することができます。お互いに成長できるよう頑張りましょう。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門特別研究	クラス	
担当教員	河越 正明	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (専門ゼミ)
曜日・時限	金 3	単位区分	選
講義室	3115	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 ・様々な日本経済の課題について、他の学生と協力しながら調べて、現状と課題を理解し、自分で説明できる。 ・これらの認識に基づき、解決策を経済学的に考察し発表できる。 対応 DP 及び CP：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
本講義では、グループ学習により、課題とする本の発表や、自分たちで選んだテーマに関して調査を行い、その結果発表を行う。また他のグループの発表を聴いて論評を加える。これにより、授業終了時には、身近な日本経済の事象を経済学的に考察する態度を身につけてもらいたい。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	講義の内容, 評価の形式, 履修上の注意点について解説。 【事前学習】2 時間 EconLink から資料をダウンロードし, よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 よく復習し, キーワードを使えるようにすること。
第 2 回	グループワーク (議論 1)	サンデル『それをお金で買いますか』の主張について, グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み, 不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 グループワークで学んだ新たな主張について, その根拠や妥当性を検討し, 自分の当初の主張を再考してみる。
第 3 回	グループワーク (議論 2)	サンデル『それをお金で買いますか』の主張について, グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み, 不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 グループワークで学んだ新たな主張について, その根拠や妥当性を検討し, 自分の当初の主張を再考してみる。
第 4 回	グループワーク (議論 3)	サンデル『それをお金で買いますか』の主張について, グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み, 不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 グループワークで学んだ新たな主張について, その根拠や妥当性を検討し, 自分の当初の主張を再考してみる。
第 5 回	グループワーク (議論 4)	サンデル『それをお金で買いますか』の主張について, グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み, 不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 グループワークで学んだ新たな主張について, その根拠や妥当性を検討し, 自分の当初の主張を再考してみる。
第 6 回	グループワーク (議論 5)	サンデル『それをお金で買いますか』の主張について, グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み, 不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 グループワークで学んだ新たな主張について, その根拠や妥当性を検討し, 自分の当初の主張を再考してみる。
第 7 回	グループワーク (議論 6)	サンデル『それをお金で買いますか』の主張について, グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み, 不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 グループワークで学んだ新たな主張について, その根拠や妥当性を検討し, 自分の当初の主張を再考してみる。
第 8 回	グループワーク (議論 7)	スロウィツキー『「みんなの意見」は案外正しい』の主張について, グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み, 不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 グループワークで学んだ新たな主張について, その根拠や妥当性を検討し, 自分の当初の主張を再考してみる。
第 9 回	グループワーク (議論 8)	スロウィツキー『「みんなの意見」は案外正しい』の主張について, グループに分

		かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み、不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 グループワークで学んだ新たな主張について、その根拠や妥当性を検討し、自分の当初の主張を再考してみる。
第 10 回	グループワーク（議論 9）	スロウヰッキー『「みんなの意見」は案外正しい』の主張について、グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み、不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 グループワークで学んだ新たな主張について、その根拠や妥当性を検討し、自分の当初の主張を再考してみる。
第 11 回	グループワーク（議論 10）	スロウヰッキー『「みんなの意見」は案外正しい』の主張について、グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み、不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 グループワークで学んだ新たな主張について、その根拠や妥当性を検討し、自分の当初の主張を再考してみる。
第 12 回	グループワーク（議論 11）	スロウヰッキー『「みんなの意見」は案外正しい』の主張について、グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み、不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 グループワークで学んだ新たな主張について、その根拠や妥当性を検討し、自分の当初の主張を再考してみる。
第 13 回	グループワーク（発表準備）	次回の発表会に向けて、グループで資料の作成などの準備を行う 【事前学習】2 時間 これまで取り上げた教材の復習。 【事後学習】2 時間 グループワークで決めた方針にそって資料を完成させる。
第 14 回	グループ別発表	これまで学んだ内容を他の人にわかるようにまとめて、グループ別に発表する。 【事前学習】2 時間 作成した資料を用いて、発表の準備をする。 【事後学習】2 時間 自分のグループの発表のよかった点、今後の改善点について検討する。
第 15 回	Excel による分析	website からデータをダウンロードし、エクセルを用いてそれを分析するという一連の作業に慣れる。 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして予習する。 【事後学習】2 時間 もう一度授業で学んだ手順に従い、内閣府・財務省・日本銀行などからデータをダウンロードして、グラフを描いて復習する。
第 16 回	ガイダンス 2	後期の講義の内容等について解説。最初に取り上げる本を検討し決定する。 【事前学習】2 時間 EconLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 取り上げる本の中身を大まかにみて、どこを分担するかを考える。
第 17 回	グループワーク（輪読 1）	選ばれた本を分担して輪読し、グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間

		資料をダウンロードして読み、不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 輪読で出てきた新たな概念などを調べ、理解を確かなものにする。
第 1 8 回	グループワーク（輪読 2）	選ばれた本を分担して輪読し、グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み、不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 輪読で出てきた新たな概念などを調べ、理解を確かなものにする。
第 1 9 回	グループワーク（輪読 3）	選ばれた本を分担して輪読し、グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み、不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 輪読で出てきた新たな概念などを調べ、理解を確かなものにする。
第 2 0 回	グループワーク（輪読 4）	選ばれた本を分担して輪読し、グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み、不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 輪読で出てきた新たな概念などを調べ、理解を確かなものにする。
第 2 1 回	グループワーク（輪読 5）	選ばれた本を分担して輪読し、グループに分かれて議論 【事前学習】2 時間 資料をダウンロードして読み、不明な用語などを調べる。 【事後学習】2 時間 輪読で出てきた新たな概念などを調べ、理解を確かなものにする。
第 2 2 回	グループワーク（発表準備）	次の発表会に向けて、グループで資料の作成などの準備を行う 【事前学習】2 時間 これまで輪読した内容の復習。 【事後学習】2 時間 グループワークで決めた方針にそって資料を完成させる。
第 2 3 回	グループ別発表	これまで学んだ内容を他の人にわかるようにまとめて、グループ別に発表する。 【事前学習】2 時間 作成した資料を用いて、発表の準備をする。 【事後学習】2 時間 自分のグループの発表のよかった点、今後の改善点について検討する。
第 2 4 回	グループワーク（個人エッセイ準備 1）	期末に作成する個人エッセイのため、似たテーマを扱うグループで準備を行う。 【事前学習】2 時間 個人エッセイで扱うテーマについて検討する。 【事後学習】2 時間 グループの他のメンバーの意見も参考に、自分のテーマを再考する。
第 2 5 回	グループワーク（個人エッセイ準備 2）	期末に作成する個人エッセイのため、似たテーマを扱うグループで準備を行う。 【事前学習】2 時間 個人エッセイで扱うテーマについて検討する。 【事後学習】2 時間 グループの他のメンバーの意見も参考に、自分のテーマを再考する。
第 2 6 回	グループワーク（個人エッセイ準備 3）	期末に作成する個人エッセイのため、似たテーマを扱うグループで準備を行う。 【事前学習】2 時間 個人エッセイで扱うテーマについて検討する。 【事後学習】2 時間 グループの他のメンバーの意見も参考に、自分のテーマを再考する。
第 2 7 回	グループワーク（個人エッセイ準備 4）	期末に作成する個人エッセイのため、似たテーマを扱うグループで準備を行う。 【事前学習】2 時間 個人エッセイで扱うテーマについて検討する。 【事後学習】2 時間 グループの他のメンバーの意見も参考に、自分のテーマを再考する。

	イ準備 4)	う。 【事前学習】2 時間 個人エッセイで扱うテーマについて検討する。 【事後学習】2 時間 グループの他のメンバーの意見も参考に、自分のテーマを再考する。
第 2 8 回	グループワーク（個人エッセイ準備 5）	期末に作成する個人エッセイのため、似たテーマを扱うグループで準備を行う。 【事前学習】2 時間 個人エッセイで扱うテーマについて検討する。 【事後学習】2 時間 グループの他のメンバーの意見も参考に、自分のテーマを再考する。
第 2 9 回	グループ別発表	各グループから共同作業内容について発表。 【事前学習】2 時間 作成資料に基づき発表の準備。 【事後学習】2 時間 発表会を振り返って改善点を検討し、個人エッセイとして深める内容を検討する。
第 3 0 回	振り返り	年間を通じた授業の振り返りを行い、これからまとめる個人エッセイについての個別の相談に応じる。

授業形式	
・質問等のフィードバックは授業内で行う。なお、授業後の質問は EcoLink 及び Gmail により受付け、次回の講義で回答する。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	60 %	0 %	40 %	0 %	100 %
評価の特記事項					
期末に提出してもらう個人エッセイの評価が主ですが、そのほかにグループワークの発表も評価に加えます。					

テキスト
以下の教材の一部を使いますが、必要な部分は Google Classroom に掲載します。 ・マイケル・サンデル（鬼澤忍訳）『それをお金で買いますか：市場主義の限界』, 早川書房, 2014 年, 880 円（税込） ・ジェームズ・スロウィッキー（小高尚子訳）『「みんなの意見」は案外正しい』, 角川書店, 2009 年, 1600 円（税別）
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	専門特別研究	クラス	
担当教員	杉原 茂	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (専門ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	A35b	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
この授業では、公共政策を企画・立案し評価するための技能を習得します。 適切な政策・制度を企画し実現していくためには、きちんとした理論的分析と統計的手法を、複雑な現実柔軟に適用していく必要があります。これは、直接の政策決定者だけでなく、政策を評価・監視する立場にある者、さらには政策に影響を受ける一般の国民についても求められる資質です。 そこで、医療や金融を始めとするサービス業の効率性の改善やデジタル経済の発展に対応した新たな競争政策上の課題、マネジメントや研究開発等による生産性の上昇などのための公共政策の企画・立案や評価を実証的に推進するため、基礎となる経済理論と統計手法の習得、及び、それらを現実に応用する技能を身に付けます。 対応 DP 及び CP: 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
公共政策についてのテキストや文献を輪読するが、各人が担当箇所のプレゼンテーションを行い、全員でディスカッションを行う。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の内容や進め方, 評価方法, 履修上の注意について説明する。 【事前学習】2 時間 テキストの目次やイントロダクションなどを読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を良く復習し, 今後の学修の進め方について自分なりのイメージをつかむ。
第 2 回	市場の倫理的限界について 輪読: その 1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み, レポートを作成する。 【事後学習】3 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから, 自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 3 回	市場の倫理的限界について 輪読: その 2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み, レポートを作成する。 【事後学習】4 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから, 自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 4 回	市民社会における経済学 者の役割について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み, レポートを作成する。 【事後学習】5 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから, 自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 5 回	経済学の変化について輪 読: その 1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み, レポートを作成する。 【事後学習】6 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから, 自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 6 回	経済学の変化について輪 読: その 2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み, レポートを作成する。 【事後学習】7 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから, 自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 7 回	市場経済における国家の役 割について輪読: その 1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間

		自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】8 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 8 回	市場経済における国家の役割について輪読：その 2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】9 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 9 回	企業統治と企業の社会的責任について輪読：その 1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】10 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 10 回	企業統治と企業の社会的責任について輪読：その 2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】11 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 11 回	環境問題について輪読：その 1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】12 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 12 回	環境問題について輪読：その 2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】13 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 13 回	労働市場の課題について輪読：その 1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】14 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。

第14回	労働市場の課題について輪読：その2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】15 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第15回	岐路に立つヨーロッパについて輪読：その1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】16 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第16回	岐路に立つヨーロッパについて輪読：その2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】17 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第17回	金融は何の役に立つのかについて輪読：その1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】18 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第18回	金融は何の役に立つのかについて輪読：その2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】19 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第19回	2008 年の金融危機について輪読：その1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】20 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第20回	2008 年の金融危機について輪読：その2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】21 時間

		自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 2 1 回	競争政策と産業政策について輪読：その 1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】22 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 2 2 回	競争政策と産業政策について輪読：その 2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】23 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 2 3 回	経済のデジタル化について輪読：その 1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】24 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 2 4 回	経済のデジタル化について輪読：その 2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】25 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 2 5 回	デジタル経済の社会的課題について輪読：その 1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】26 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 2 6 回	デジタル経済の社会的課題について輪読：その 2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】27 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 2 7 回	イノベーションと知的所有権について輪読：その 1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間

		自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】28 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 28 回	イノベーションと知的所有権について輪読：その 2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】29 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 29 回	産業規制について輪読：その 1	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】30 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。
第 30 回	産業規制について輪読：その 2	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】31 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気が付いたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことなどをまとめる。

授業形式	
・質問等のフィードバックは講義内に行う。 ・質問等は EcoLink からも受け付ける。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	50 %	0 %	50 %	0 %	100 %
評価の特記事項					
特になし。					

テキスト
ティロール『良き社会のための経済学』日本経済新聞出版社，2018 年，4,200 円（税抜）。
参考文献
授業時に指示する
オフィスアワー
月曜日 15:00～16:00 事前に授業後またはメールでアポイントメントをとること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
自分の発表箇所について十分に準備をして授業に臨むことはもちろん、他の人の発表についても積極的に討議に参加すること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門特別研究	クラス	
担当教員	常木 淳	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (専門ゼミ)
曜日・時限	月 4	単位区分	選
講義室	7062	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
政府は、経済資源の配分に対して、市場と同様、大きな影響を及ぼしています。本ゼミでは、法制度の設計と執行、公共サービスの供給、税制や社会保障による富の再分配など、政府が担当している経済的役割について、ゼミ参加者諸賢が、単なるジャーナリスティックな情報整理ではなく、経済学の原理原則にまでさかのぼった考察ができるようになること、また、より原理的な問題意識として、国家と個人との関係、特に国家による規範形成の意味と、個人の自由な選択領域との関係、という問題について、憲法学と経済学との関係性を意識して、現実の政策問題に応じた判断ができるような能力を養うことを目的としています。
対応 DP 及び CP : 5 , 6 , 7 , 8
授業概要（教育目的）
厚生経済学、公共経済学の基礎的な方法論を徹底的に学び、これが現実の経済政策に関する決定場面において、どのような意味を持っているのかを理解することを最初の課題とします。次に、憲法学について、経済政策的決定に関連する部分を学習し、経済政策判断における憲法上の制約について、厳密な理解を獲得することを目指します。以上の準備を経て、現実の公共サービスを素材としながら、その政府による提供の範囲、なぜ政府による提供が正当化できるのか、政府が提供する場合にどのような制度上の枠組みと手法を利用すべきか、という問題について、個々のサービスごとに適切な判断ができるようになることを目指します。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	教員によるゼミ全体のガイダンス	本年学習するゼミの内容を教員が概説し、内容、及びゼミの進行方法などに関して、参加者からの質問を受ける。 【事前学習】2 時間 公共経済学とは何か、事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、この一年間ゼミにおいて学ぶ内容、自分の努力目標に関する自分なりのイメージを確立する。
第 2 回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	社会に提供されるサービスのうちで、市場が供給するサービスと政府が供給するサービスとの例を挙げつつ、それらがどのように異なっているかを学ぶ。また、多様な公共サービスについて、サービスの性質や提供手法などを通じた分類を試みる。 【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。
第 3 回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	公的サービスの多様性に着目しながら、それらを共有する場合に共通する経済的な原則について理解をする。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備をしておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第 4 回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	厚生経済学の基本的な価値規範である社会的厚生関数について学び、それが現実の経済政策判断においてどのような意味を持っているかを学ぶ。 【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。
第 5 回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	社会的厚生関数の個人主義、パレート包摂性などの性質について正しく理解し、現実の経済政策がこれらの価値規範とどのように結びついているのかを様々な具体例を挙げながら理解してゆく。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受

		けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備しておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第 6 回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	憲法における「公共の福祉」の理念と基本的人権の理念とがどのような関係を持っているのか、それが現実の経済政策判断の場面で、どのようにクリティカルな役割を果たすのかを学ぶ。 【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。
第 7 回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	個人の権利と社会全体の福利との関係について、様々な具体例を挙げながら、両者の対立をどのように調整していったらよいのかを、考えてゆく。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備しておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第 8 回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	憲法論における公共の福祉に関する「二重の基準」論について詳しく学び、それが経済政策にどのような意味を持っているのかを正しく理解する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。
第 9 回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	「二重基準」論が具体的に問題となる多様な場面をできるだけ多様に提出し、この基準が適切であるか、それとも基準の修正、あるいは基準の適用領域の限定を求められるのかを議論する。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備しておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第 10 回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	経済政策決定に際して、法律家と経済学者との適切な役割分担をどのように行うかを検討する。

		【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。
第 1 1 回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	法律家による政策論に関する文献を、発表するグループに事前に読んでもらい、経済学者による政策論を共通点や相違点を論じてもらう。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備をしておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第 1 2 回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	公共経済学に基づく政策判断の基準と方法について正確に学び、法律家による政策論と比較する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。
第 1 3 回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	公共経済学的な政策介入の基準である公平性と効率性について正確な理解を進めるとともに、特に効率性基準としてのカルドア・ヒックス基準の意義についての厳密な理解を確立する。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備をしておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第 1 4 回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	公共経済学的政策介入にあたって留意すべき憲法上の制約について、厳密な理解を確立する。憲法 29 条 3 項における「正当補償」の原則について学ぶ。 【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを

		確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。
第15回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	政府による公共経済学的手法に基づく介入が行われた場合、政府による「補償」が必要となる事例を取り上げて、具体的にどのような政策対応が可能かを学ぶ。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備をしておく。
第16回	教員による後期ゼミ全体のガイダンス	後期に学習するゼミの内容を教員が概説し、内容、及びゼミの進行方法などに関して、参加者からの質問を受ける。 【事前学習】2 時間 公共サービスとは何か、事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、後期半年間ゼミにおいて学ぶ内容、自分の努力目標に関する自分なりのイメージを確立する。
第17回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	公共サービスの厳密な定義、それが公共的に提供される理由について、公共経済学的観点から理解する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。
第18回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	公共サービスについて、その最も本質的な領域と周辺領域とを区別することによって、さらに理解を促進する。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備をしておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第19回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	公共財の最適供給に関する公共経済学の理論を復習し、これを法学者による公共財供給に関する議論を比較検討する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを

		確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。
第20回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	公共サービスの具体事例を取り上げて、前回説明した公共財の政敵供給基準に基づく供給の在り方と現実の供給体制との差異について議論する。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備をしておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第21回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	公共サービスのうちで、無償供給される理由を公共経済学の観点から説明する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。
第22回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	無償供給される公共サービスの例を挙げて、現実は無償で供給されているサービスが公共経済学の観点から見て妥当と言えるかどうか議論する。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備をしておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第23回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	道路サービスを具体例に挙げて、一般道、及び高速道路に関して、どのような条件の下で無償供給が正当化でき、どのようなケースでは料金を徴収するべきか、その額はどのように決められるべきか、などを説明する。道路サービスを具体例に挙げて、一般道、及び高速道路に関して、どのような条件の下で無償供給が正当化でき、どのようなケースでは料金を徴収するべきか、その額はどのように決められるべきか、などを説明する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。

第 2 4 回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	現実の道路供給の在り方について調べて、それがどのように供給されているのか、現実の供給状況は公共経済学に基づく指針と合致しているか、両者の乖離がどのような理由から生ずるか議論する。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備をしておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第 2 5 回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	公共サービスの提供にあたって、政府が直接にサービスを提供する場合と、提供を民間に委託する場合がある。いろいろな公共サービスについて直接供給と民間委託のどちらが望ましいかを議論する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。
第 2 6 回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	具体的な公共サービスの例を挙げて、民間委託するか政府が直接供給するかのどちらが望ましいか、現実の供給体制が前回論じた民間供給の指針と合致するのかを議論する。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備をしておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第 2 7 回	配布した論文資料の指定された該当箇所を輪読する。	料金の徴収が可能な図書館、病院、学校などのサービスにおいて公的なサービス供給が行われている理由を説明し、その妥当性について議論する。 【事前学習】2 時間 該当箇所を事前に熟読する。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、授業内容についての自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習によって、理解を確実なものにしておく。
第 2 8 回	前回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	日本における公教育の現状について調査し、公立学校と私立学校との関係をはじめ、教育サービスが適正に供給されているかを調べる。もしも、適性を欠く部分があるとすればその理由についても議論する。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受

		けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備しておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第 29 回	前々回の輪読をもとにして、指定されたグループによる具体的事例に基づいた報告をしてもらう。	教育の現状について、海外の事例を調査し、前回調べた日本の状況と比較し、どちらがより望ましい供給をしているかを議論する。 【事前学習】2 時間 前回の討議に基づいて関心のあるテーマを選択し、研究発表する。指定を受けなかったメンバーも、積極的なコメントができるように準備しておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、自分の理解が適切かどうかを確認する。不完全な部分については、追加的な学習を行う。
第 30 回	全体総括	今年度の研究全体を振り返って、各人のその成果や感想を求め、その成果を今後に生かしてゆく方向性を全員で考えてゆく。 【事前学習】2 時間 本年度の講義全体を振り返り、自分が学んだことを確認しておく。 【事後学習】2 時間 授業中の討議を振り返り、ゼミにおいて学んだ内容を確認するとともに、自分の今後のライフプランの中にどう位置付けてゆくか、自分なりのイメージを確立する。

授業形式
授業は、毎回、考察する主題を資料の形で与えたうえで、教員による解説、演習参加者との質疑応答、発表者のチームによる調査とレポートを有機的に組み合わせて進められる。参加者は、予め経済学の知識を特別に要求するものではないが、授業にあたっては意欲を持って積極的に参加すること。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	30 %	0 %	70 %	0 %	100 %
評価の特記事項					
発表や討議において観察される学力は、当然最優先の事項であるが、同時に誠実に努力する姿勢をいつも見ていることを忘れないように。					

テキスト
研究と発表の素材となる論文や資料は、授業の時に配布する。
参考文献
常木淳（2002）「公共経済学」第2版 新世社。
オフィスアワー
メールでの事前予約による。いつでも応じるので、積極的に連絡するように。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
とにかく、やる気を持って、課題と積極的に向き合う姿勢が求められる。理由のない欠席に対しては、単位不認定はもちろん、退ゼミを含めた厳しい措置をとる。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門特別研究	クラス	
担当教員	坪内 浩	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (専門ゼミ)
曜日・時限	水 2	単位区分	選
講義室	3093	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
このゼミでは、ゼミ生が経済学的なものの考え方を身に付け、経済・社会の問題を考えるとともに、考えた結果をプレゼンテーションして意見交換し、その人なりの結論を導き出せるようになることを目標とします。 対応 DP 及び CP：5，6，7，8
授業概要（教育目的）
経済・社会に関する文献を読んでそれに関するプレゼンテーションを行ってもらいます。特に、このゼミでは、グローバル化、AI やロボットの導入とその影響について検討します。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の概略。授業の方針。授業計画。評価の方法。注意事項。 【事前学習】2 時間 シラバスを読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、提示された課題に取り組むこと。
第 2 回	プレゼンテーションについて	プレゼンテーション・ツールが使えるようになる。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーション・ツールについて調べておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、提示された課題に取り組むこと。
第 3 回	ディベートについて	ディベートができるようになる。 【事前学習】2 時間 ディベートについて調べておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習した上で、提示された課題に取り組むこと。
第 4 回	AI やロボットの導入とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 5 回	AI やロボットの導入とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 6 回	AI やロボットの導入とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	AI やロボットの導入とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポ

		ート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 8 回	AI やロボットの導入とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 9 回	AI やロボットの導入とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 10 回	AI やロボットの導入とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 11 回	AI やロボットの導入とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 12 回	AI やロボットの導入とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 13 回	調査・研究のテーマ報告と議論	問題意識、先行研究、具体的な事例（過去、海外）、大まかなデータ、論理展開の骨子など 【事前学習】2 時間 報告用のレポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 14 回	調査・研究のテーマ報告と議論	問題意識、先行研究、具体的な事例（過去、海外）、大まかなデータ、論理展開の骨子など

		【事前学習】2 時間 報告用のレポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 1 5 回	調査・研究のテーマ報告と議論	問題意識、先行研究、具体的な事例（過去、海外）、大まかなデータ、論理展開の骨子など 【事前学習】2 時間 報告用のレポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 1 6 回	調査・分析の進捗状況の報告と議論（中間報告）	言いたいこと、知りたいことは何か？を明確化する 過去、海外から分析に使える具体的な事例とデータを探す 【事前学習】 報告用のレポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 1 7 回	調査・分析の進捗状況の報告と議論（中間報告）	言いたいこと、知りたいことは何か？を明確化する 過去、海外から分析に使える具体的な事例とデータを探す 【事前学習】 報告用のレポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 1 8 回	調査・分析の進捗状況の報告と議論（中間報告）	言いたいこと、知りたいことは何か？を明確化する 過去、海外から分析に使える具体的な事例とデータを探す 【事前学習】 報告用のレポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 1 9 回	グローバル化とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 2 0 回	グローバル化とその影響につ	指定した文献の内容を順番に報告する。

	いて輪読	【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第2 1回	グローバル化とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第2 2回	グローバル化とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第2 3回	グローバル化とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第2 4回	グローバル化とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第2 5回	グローバル化とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第2 6回	グローバル化とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。

		ート作成時に注意すべきことをまとめる。
第27回	グローバル化とその影響について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第28回	調査・分析の報告（最終報告）	問題意識（主張しようとする仮説）、先行研究、具体的な事例（過去、海外）、データの収集と分析、論理展開など 【事前学習】 報告用のレポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第29回	調査・分析の報告（最終報告）	問題意識（主張しようとする仮説）、先行研究、具体的な事例（過去、海外）、データの収集と分析、論理展開など 【事前学習】 報告用のレポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第30回	調査・分析の報告（最終報告）	問題意識（主張しようとする仮説）、先行研究、具体的な事例（過去、海外）、データの収集と分析、論理展開など 【事前学習】 報告用のレポートを作成する。 【事後学習】 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。

授業形式	
・質問等のフィードバックは講義内に行う。 ・質問等は EcoLink からも受け付ける。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	50 %	0 %	50 %	0 %	100 %
評価の特記事項					
授業内で指示した課題はすべて提出すること。					

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ワード、エクセル、パワーポイントが使えるパソコン、タブレットを各自準備してください。また、指定されたテキストや文献を購入してください。 積極的に発言しゼミに取り組む学生を希望します。欠席が授業回数の 6 分の 1 以上の学生には単位を与えることはできません。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門特別研究	クラス	
担当教員	藤本 知彦	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (専門ゼミ)
曜日・時限	金 5	単位区分	選
講義室	A35a	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身に付けることを目標とします。 1. 社会保障の目的と機能を理解し、説明できる。 2. 社会保険の仕組みや特徴を公的扶助、民間保険との対比において理解し、説明できる。 3. 社会保障財政の基本的な仕組みと現状を理解し、説明できる。 4. 社会保障制度の変遷と現状を社会的・経済的背景との関連において理解し、説明できる。 対応 DP 及び CP : 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
日本の社会保障は、少子高齢化の進行等を背景として大きな転換期を迎えており、将来に向けた制度改革が重要な政策課題となっています。本講義では、社会保障の意義と基本構造、社会保障の歴史的変遷、社会経済状況の変化と社会保障との関係を研究テーマとして、社会保障に関する現代的課題の理解等に必要な基礎的能力を養成することを目的とします。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義概要の説明, 日常生活と社会保障 【事前学習】2 時間 シラバスを読み, 講義の概要を把握する。日常生活と社会保障との関わりを考える。 【事後学習】2 時間 授業で学んだ内容をまとめ, 理解を深める。
第 2 回	社会保障の基礎	社会保障と社会保険との関係／グループワーク 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み, 概要を把握する。 【事後学習】2 時間 該当項目についてまとめ, 理解を深める。
第 3 回	社会保障の意義と基本構造 1	社会保障の概念(1) (社会保障の意義, 1935 年「社会保障法」(アメリカ), 1942 年「ベヴァリッジ報告」(イギリス)／グループワーク 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み, 概要を把握する。 【事後学習】2 時間 該当項目についてまとめ, 理解を深める。
第 4 回	社会保障の意義と基本構造 2	社会保障の概念(1) 社会保障の意義, 1935 年「社会保障法」(アメリカ), 1942 年「ベヴァリッジ報告」(イギリス)／報告 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み, 要点を整理する。 【事後学習】2 時間 報告等を踏まえて, 理解を深める。
第 5 回	社会保障の意義と基本構造 3	社会保障の概念(2) (憲法 25 条, 社会保障制度審議会による勧告), 社会保障制度の体系／グループワーク 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み, 概要を把握する。 【事後学習】2 時間 該当項目についてまとめ, 理解を深める。
第 6 回	社会保障の意義と基本構造 4	社会保障の概念(2) (憲法 25 条, 社会保障制度審議会による勧告), 社会保障制度の体系／報告 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み, 要点を整理する。 【事後学習】2 時間 報告等を踏まえて, 理解を深める。
第 7 回	社会保障の意義と基本構造 5	社会保障の目的と機能／グループワーク 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み, 概要を把握する。

		【事後学習】2 時間 該当項目についてまとめ、理解を深める。
第 8 回	社会保障の意義と基本構造 6	社会保障の目的と機能／報告 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み、要点を整理する。 【事後学習】2 時間 報告等を踏まえて、理解を深める。
第 9 回	社会保障の意義と基本構造 7	社会保険の意義，社会保険の仕組みと原理／グループワーク 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み，概要を把握する。 【事後学習】2 時間 該当項目についてまとめ，理解を深める。
第 10 回	社会保障の意義と基本構造 8	社会保険の意義，社会保険の仕組みと原理／報告 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み，要点を整理する。 【事後学習】2 時間 報告等を踏まえて，理解を深める。
第 11 回	社会保障の意義と基本構造 9	社会保険の特徴，社会保険のメリット・デメリット／グループワーク 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み，概要を把握する。 【事後学習】2 時間 該当項目についてまとめ，理解を深める。
第 12 回	社会保障の意義と基本構造 10	社会保険の特徴，社会保険のメリット・デメリット／報告 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み，要点を整理する。 【事後学習】2 時間 報告等を踏まえて，理解を深める。
第 13 回	社会保障の意義と基本構造 11	社会保障の財政（社会保障給付費，社会保障関係費等の現状）／グループワーク 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み，概要を把握する。 【事後学習】2 時間 該当項目についてまとめ，理解を深める。
第 14 回	社会保障の意義と基本構造 12	社会保障の財政（社会保障給付費，社会保障関係費等の現状）／報告 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み，要点を整理する。 【事後学習】2 時間 報告等を踏まえて，理解を深める。
第 15 回	社会保障の歴史 1	社会保障の生成と発展（イギリス等）／グループワーク 【事前学習】2 時間

		テキスト等の該当箇所を読み，概要を把握する。 【事後学習】2 時間 該当項目についてまとめ，理解を深める。
第 1 6 回	社会保障の歴史 2	社会保障の生成と発展（イギリス等）／報告 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み，要点を整理する。 【事後学習】2 時間 報告等を踏まえて，理解を深める。
第 1 7 回	社会保障の歴史 3	社会保障制度の変遷（戦前，昭和 20 年代～60 年代）／グループワーク 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み，概要を把握する。 【事後学習】2 時間 該当項目についてまとめ，理解を深める。
第 1 8 回	社会保障の歴史 4	社会保障制度の変遷（平成元年～20 年代後半）／グループワーク 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み，概要を把握する。 【事後学習】2 時間 該当項目についてまとめ，理解を深める。
第 1 9 回	社会保障の歴史 5	社会保障制度の変遷（戦前，昭和 20 年代）／報告 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み，要点を整理する。 【事後学習】2 時間 報告等を踏まえて，理解を深める。
第 2 0 回	社会保障の歴史 6	社会保障制度の変遷（昭和 30 年代～40 年代）／報告 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み，要点を整理する。 【事後学習】2 時間 報告等を踏まえて，理解を深める。
第 2 1 回	社会保障の歴史 7	社会保障制度の変遷（昭和 50 年代～60 年代）／報告 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み，要点を整理する。 【事後学習】2 時間 報告等を踏まえて，理解を深める。
第 2 2 回	社会保障の歴史 8	社会保障制度の変遷（平成元年～10 年）／報告 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み，要点を整理する。 【事後学習】2 時間 報告等を踏まえて，理解を深める。
第 2 3 回	社会保障の歴史 9	社会保障制度の変遷（平成 10 年代）／報告 【事前学習】2 時間

		テキスト等の該当箇所を読み，要点を整理する。 【事後学習】2 時間 報告等を踏まえて，理解を深める。
第 2 4 回	社会保障の歴史 1 0	社会保障制度の変遷（平成 20 年代前半）／報告 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み，要点を整理する。 【事後学習】2 時間 報告等を踏まえて，理解を深める。
第 2 5 回	社会保障の歴史 1 1	社会保障制度の変遷（平成 20 年代後半）／報告 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み，要点を整理する。 【事後学習】2 時間 報告等を踏まえて，理解を深める。
第 2 6 回	現代社会と社会保障 1	社会経済状況の変化と社会保障／グループワーク 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み，概要を把握する。 【事後学習】2 時間 該当項目についてまとめ，理解を深める。
第 2 7 回	現代社会と社会保障 2	社会経済状況の変化と社会保障／報告 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み，要点を整理する。 【事後学習】2 時間 報告等を踏まえて，理解を深める。
第 2 8 回	現代社会と社会保障 3	社会保障・税一体改革の概要／グループワーク 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み，概要を把握する。 【事後学習】2 時間 該当項目についてまとめ，理解を深める。
第 2 9 回	現代社会と社会保障 4	社会保障・税一体改革の概要／報告 【事前学習】2 時間 テキスト等の該当箇所を読み，要点を整理する。 【事後学習】2 時間 報告等を踏まえて，理解を深める。
第 3 0 回	まとめ	授業内容の総括 【事前学習】2 時間 テキスト等のこれまでの該当箇所を読み，総復習をする。 【事後学習】2 時間 本講義を通して学んだ内容の理解を深める。

授業形式
基本的に報告形式とグループワークにより行います。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	40 %	0 %	60 %	0 %	100 %
評価の特記事項					
受講状況等により評価方法を変更することもあります。					

テキスト
授業時に指示します。
参考文献
授業時に指示します。
オフィスアワー
授業時に指示します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
各授業内容は相互に関連していますので、毎回の授業内容の理解に努めてください。 授業計画については、受講者の理解度や進行状況等により適宜変更することもあります。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門特別研究	クラス	08
担当教員	松本 純	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水 3	単位区分	選
講義室	3062	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 学術的文献を講読することで、豊かな教養・知識を習得する。 2. 複数の学術的文献を読みこなすことで、分析力・批判的思考力を習得する。 3. とりわけ歴史的文献を講読することで、経済・経営の歴史的文脈を解き明かし、現在の諸問題の解決策等を見出す。 対応 DP および CP: 5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本講義は、経営史を対象とします。諸外国そして日本の経営を歴史的に理解して自身の知恵とするには、インターネットの情報に頼るより、経営史に関する専門書を深く読むことが必要となります。普段触れることのない経営史関連の学術的文献を読み込むことによって、経営史の専門知識を身につけ、歴史的価値観を育んでもらいます。 具体的には、複数（講義前半：1 冊，講義後半：1～2 冊）の文献を講読して、その内容を個人で報告してもらいます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容，形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 シラバスを熟読し，講義の概要について把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を十分理解し，授業中に紹介したテキスト（文献）を手に入れておくこと。
第 2 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 3 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 4 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 5 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 6 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 8 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 9 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。

		【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 10 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 11 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 12 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 13 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 14 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 15 回	前半の総括	指定した文献全体の内容を把握し、そこからどのような歴史的文脈を習得したか、まとめる。 【事前学習】2 時間 前半に自分が報告した全ての内容について、復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 16 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 17 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間

		教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 18 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 19 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 20 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 21 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 22 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 23 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 24 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 25 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 26 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間

		自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 27 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 28 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 29 回	文献の講読	指定した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を熟読し、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 30 回	後半の総括	指定した文献全体の内容を把握し、そこからどのような歴史的文脈を習得したか、まとめる。 【事前学習】2 時間 後半に自分が報告した全ての内容について、復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、レポート作成時に注意すべきことをまとめる。

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	80%	0%	20%	0%	100%
評価の特記事項					
授業内で提示した課題は、すべて提出すること。提出物の完成度・授業への参画度などにより、総合評価する。					

テキスト
橘川武郎『ゼロからわかる日本経営史』日経文庫，2018 年，950 円（税抜）。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
受講生との相談により、日時を決める。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
受講生にテキスト（文献）の購入を義務づける。しかるべき理由もなく課題の提出などを怠る受講生については、単位を与えないこととする。歴史的文献の講読を続ける授業であるため、なるべく普段から歴史に関心を持つようにすること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	専門特別研究	クラス	
担当教員	丸田 利昌	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (専門ゼミ)
曜日・時限	月 4	単位区分	選
講義室	3113	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 英語で書かれた経済学・ゲーム理論の文献を読めるようになる。 2. 英語で書かれた経済学・ゲーム理論の文献をまとめ、その内容を他者に説明できるようになる。特に、論理的な説明を与えることができるようになることを目指す。ここで「説明」とは、聴衆の前に登壇して説明する、いわゆる「プレゼンテーション」である。 3. 他者のプレゼンテーションをよく理解し、その上で適切な質問・コメントをできるようになる。 対応 DP 及び CP:5,6,7,8
授業概要（教育目的）
英語で書かれた経済学・ゲーム理論の文献を厳しく読み込みます。「厳しく」とは、経済学・ゲーム理論の論理においても、英文の読解においても、「流すことなく」読むということです。各学生は、割当てられた部分をプレゼンテーションファイル（ex., パワーポイント）にまとめ、報告します。聴衆となる学生は、できる限り多くの質問を発するよう努めます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義内容・形式・評価などについて，教員による説明．その後，教科書序章を教員が講義する。 【事前学習】教科書序章を通読しよう。（2 時間） 【事後学習】教科書序章を通読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認しよう。（2 時間）
第 2 回	ゲーム理論の英文教科書の 輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（2 時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（4 時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（2 時間）
第 3 回	ゲーム理論の英文教科書の 輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（2 時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（4 時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（2 時間）
第 4 回	ゲーム理論の英文教科書の 輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（2 時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（4 時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（2 時間）
第 5 回	ゲーム理論の英文教科書の 輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（2 時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（4 時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（2 時間）
第 6 回	ゲーム理論の英文教科書の 輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（2 時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（4 時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（2 時間）
第 7 回	ゲーム理論の英文教科書の 輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（2 時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（4 時

		間) 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。(2時間)
第8回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。(2時間) 報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。(4時間) 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。(2時間)
第9回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。(2時間) 報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。(4時間) 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。(2時間)
第10回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。(2時間) 報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。(4時間) 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。(2時間)
第11回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。(2時間) 報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。(4時間) 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。(2時間)
第12回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。(2時間) 報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。(4時間) 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。(2時間)
第13回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。(2時間) 報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。(4時間) 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。(2時間)
第14回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。

	輪読	【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第１５回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第１６回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第１７回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第１８回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第１９回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第２０回	ゲーム理論の英文教科書の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み，メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は，プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し，事前の読みがどのように

		更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第２１回	ゲーム理論の英文教科書の 輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第２２回	ゲーム理論の英文教科書の 輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第２３回	ゲーム理論の英文教科書の 輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第２４回	ゲーム理論の英文教科書の 輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第２５回	ゲーム理論の英文教科書の 輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第２６回	ゲーム理論の英文教科書の 輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間） 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。（２時間）
第２７回	ゲーム理論の英文教科書の 輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。（２時間）報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。（４時間）

		間) 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。(2時間)
第28回	ゲーム理論の英文教科書の 輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。(2時間) 報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。(4時間) 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。(2時間)
第29回	ゲーム理論の英文教科書の 輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】報告予定箇所を読み込み、メモを作成する。(2時間) 報告予定者になっている場合は、プレゼンテーションファイルを作成する。(4時間) 【事後学習】プレゼンテーションされた部分を再読し、事前の読みがどのように更新されたかを確認する。理解の更新に基づきメモを改定する。(2時間)
第30回	まとめ	輪読の結果得られた事柄をまとめる。皆で議論する。 【事前学習】どの主題が特に興味深いものであったかを振り返る。また、自分の担当箇所については、その内容を復習する。(2時間) 【事後学習】卒業論文へ向けて、ゲーム理論をどのような形で使用するかを考察する。(2時間)

授業形式
質問等は Ecolink から受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	0 %	0 %	100 %	0 %	100 %
評価の特記事項					
3 回連続, または通算 5 回の無断欠席があった場合は, 不合格。					

テキスト
Game Theory: An applied introduction, Ferreira, J.L., MacMillan International/Red Globe
参考文献
オフィスアワー
火曜 16 : 30～17 : 30。または事前のアポイントメントの上, 随時。オンラインでも可。
学生へのメッセージ (事前・事後学習の内容など)
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2